

じゃん・けん・ぼんべり

# 子育て・子育て

子どもと漢方

相談室

**Q** 漢方薬の効能、西洋医薬との違い、薬の飲み方を教えてください

.....

**A** 漢方薬は自然界にある植物を中心に複数の生薬が組み合わされた薬です。漢方薬というと昔の薬、長く飲まないと効果がでない、煎じて飲むと苦い飲みにくい薬—などのイメージを持たれると思います。現在多くの医療機関で処方される漢方薬はエキス製剤といって、煎じた液を濃縮、乾燥させて顆粒にし、アルミの袋に入れて飲みやすくしたものになっています。子どもでも比較的服用しやすくなっています。

現代西洋医学は病名を診断して治療しますが、漢方薬は何となく調子が悪い、だるい、気持ち落ち着かない、おなかの調子が良くない、風邪をひきやすいなどの症状を改善させるのが得意です。子どもや保護者の話をよく聞いて、子どもの口の中、舌脈の状態を見たり、おなかを触ったりして、体質や症状をチェックし、漢方医学という「気」「血」「水」のバランスを考えて処方します。

ココアやアイスクリームに混ぜて飲むことも

薬が飲みにくい場合はココアやアイスクリームなどに混ぜて飲むこともできます。また袋状のオブラートに包み少量の水に沈めるとオブラートがゼリー状にな

り簡単に飲めます。薬の効果が遅いと思われるがですが、体質（漢方という証）が合うと効き目がすぐ出ることが多い



## 服用しやすいエキス製剤 体質が合うと効き目早い

です。例えば鼻水、せき、腹痛、嘔吐、便秘、頭痛、めまい、おねしょ、夜泣き、かゆみ、冷え、イライラ感

(NPO法人ながのこども城理事 あらかわファミリークリニック新川一雄)

などに対して早く効果があらわれます。  
**ウイルス感染症に  
抗炎症効果**  
ウイルス感染症に対して西洋医学ではインフルエンザ、水痘など一部を除いて特効薬はありません。それに対して漢方薬は多くのウイルスに対する抗炎症効果があるといわれています。インフルエンザでも麻黄湯という処方薬はタミフルと同じような効果が表れることがあります。また風邪をひきやすい子に補剤といわれる漢方薬を飲んでもらうといつの間にか、丈夫な体質になった例もあります。

漢方治療を希望される場合は漢方の経験豊富な小児科受診をお勧めします。

漢方薬も全く副作用がないわけではありません。もしアレルギー症状があればすぐ相談してください。